

## 「土のう袋」に描かれるアフリカの子供たちの夢・未来 ～親しみと気づきから広げる支援者の輪～

(Panasonic NPO サポート ファンド for アフリカ 2011 年度助成事業)

### 活動の目的

アフリカの村の人々のくらしは、ニュースなどで目にする内戦、飢餓に苦しむ人々というショッキングなものではなく、住む場所と人、生活の仕方が違うだけの人として共通の日常である。学生が撮影する普段は見ることのないケニアの村での日常は、これまで国際協力に興味が無く、“アフリカは遠く離れた自分たちとは関係のない国”という思いの人々に、アフリカをより身近な存在として感じてもらうきっかけを与える。

また、日本古来からの土木技術がアフリカの貧困削減に寄与する事例を紹介することで、我々がアフリカで実践する“村人が自分たちでくらしを豊かにするために、「土のう」を使った道直しを進める”という活動に共感してもらうことを目的としている。

### 活動の内容

1. 「道普請人」によって「土のう」による道直し研修が実施され、自らくらしを豊かにする活動が行われている村の子供たち 100 人に、「夢・未来」をテーマにした絵を「土のう袋」にマジックで描いてもらう。
2. 子供たちが絵を描いている様子、ケニアで活動する村の人々の暮らし、道直しの様子を学生ボランティアにビデオ撮影してもらう。
3. 京都市内の画廊で、「土のう袋」に描いてもらった絵を展示し、ビデオを上映する。
4. 活動報告会で「道普請人」の活動を報告する。

実際にケニアで国際協力活動を行った学生の体験を語ってもらう。



2011 年春、村の学校と「土のう」により整備された道の先に作られた幼稚園の子供たちが日本の学生ボランティアとともに、自分の「夢・未来」をテーマに「土のう袋」に絵を描いてくれました。

今回参加した 3 人の学生ボランティアと子供達。

展示会は、10/29～11/3 に be-京都 <http://www.be-kyoto.jp/index.html> で行う予定です。  
ぜひお立ち寄りください。